

## 題名【早稲田合宿事件】

このコラムではヨットがどうだとかこのレースではこうしたら良かった・ダメだったとかいう話をしても正直つまらないので、そういうことはあんまりしないようにします。ちょっとやばいことだとかそれ言っているの？みたいなことを載せていきますのでよろしく。本気で不味そうなのは後で削除してください。

ということで題名の「早稲田合宿事件」についての話ですが、この事件は知っている人は知っている、知らない人は知らない話です。ただ割と大事になりました。

早稲田大学といえばインカレ本戦でもちよくちよく優勝しちゃったりする大学ヨット界ではまあすごい大学なのです。その早稲田大学とどういう繋がりですべて一緒に合宿することになったかは知りませんが、私の一個下の代の主将が当時の一年生を引き連れて3月に関東まで行って練習に混ぜてもらおうということになりました。

事件当時3月で、私は卒論を無事に終え残務処理のため大学でせっせと作業していた時のことでした。合宿に参加していた当時の主将から突然電話が来たので対応することにしました。「合宿どう？」とか「早稲田と合宿するなんてすごいね！」なんて和気あいあいと話をしてはいたはず。「ところで」とあっちが切りだしてきたので「どうした？」と聞くと「**実は早稲田の船、艇体放棄しちゃいました。えへへ**」とかぬかしてきました。『マジでこいつ何言ってるの?!』と思いましたが私は間違っていないと思います。

どうやら、とんでもない前線が来て必死に戻ったがあえなく撃沈したそうです。当時は早稲田・室工の他に他大学も練習をしていてそれぞれ大打撃を受けたみたいです。ちなみに当時のヤフートップニュースにもなり【早稲田、日大、室工大ヨット部遭難】みたいな見出しで出ていました。事件後はいろんな人に「この並びでニュースになるなんて最初で最後だぞ」なんて笑われましたが、そこは後輩たちが何とかするでしょう（良いニュースで）。

艇体放棄した状況としては、風が強く最初は最初主将とA君の二人で470に乗っていましたが、途中で早稲田の学生も乗り三人で操船していたとのこと。操船しきれず防波堤で座礁し、防波堤の上でヨットが壊れていく様を見届けたとのこと。防波堤に乗り上げた時はA君の姿が見当たらず早稲田君と主将は『アイツ死んだ』と思ったそうですが「呼びました？」とひょっこり現れたので『もう化けて出やがったか』とびっくりしたそうです。ちなみにこのA君は長い合宿生活に我慢できず早稲田の合宿所のトイレで〇〇〇ーをしたらしいのでこれも事件です。当然陸まで戻る手段がないため、海保？にヘリで救助してもらい(人間については)事なきを得ました。

結局、艇体放棄したのは早稲田と日大、そして室工大の3校で室工大は早稲田の船を借りていたので早稲田は大ショック。当然部員同士じゃ決着がつかないので大学同士での話し合い&当時の監督に事態の收拾をお願いすることになりました。本当にご迷惑をおかけしました。

この教訓を生かし切れるかどうかはあなた次第です。